

の國給等最善の努力をなすつゝある。

一、イギリス、フランス、アメリカの外交界に於ける概測によれば伊希兩國の戦争状態は現在尚外交交渉によつて即時終結せしめざるのみならず伊大の對ギリシア要求の大半は希臘現政府の退陣を以て代はる親伊政府の出現によつて承認せられるであらうと見てゐる。又最近のブルガリア情勢は伊大の希臘進攻によつて漸次樞軸に傾いて來たと謂はれる。

二、米朝情報によれば米海軍母艦一隻と駆逐艦三隻はフロリダの某港を出で、行衛をくましましたが多分英國より護衛された一海軍基地に向つたものと察せられる。

外國宣傳情報第三號

内閣情報部二二・五

一 成都中央通信社新聞電報放送 (十月廿九日) (朝鮮總督府遞信局聽取)

香港報

最近防空施設研究の爲支那の戦時首都で一週間を過した香港政廳の防空局長であるA・J・H・スチール・パーキンス飛行中佐の談によると、

「重慶に幾多のトンネルが出来てゐることは重慶の素晴らしい防空組織に負ふものである。空襲の危険に對して重慶市民に與へられてゐる「立派な保護」は實に價するものあり。香港も重慶同様の能率を擧げることが希望してゐる。重慶の防空は文字通りトンネルだらけで、その人口四十三萬に對してゐるが余の時に感銘せることは市民の大多数が全く恐怖心をもたず、氣分の明かに旺盛なることであつた。重慶に巨額の破壊の只中にあつて民衆の活氣ある態度、富豪の酒にも貧民の涙にも後の勝利に對する自信を見たのは感激させられた。重慶の住民は空襲中泰然自若としてゐる。之は(一)「殆んど襲撃に安全なる」避難所があり、(二)家屋を破壊された者の爲に小屋掛する材料が整つてをり、(三)各人が模範を示し、近隣者を助けんとしてゐるからである。防火に關しては思ひ切つた措置に重慶當局は出てをり、延焼を阻止するためには次々に建物を取壊すことを決して躊躇しない。各戸主は地階に四十ガロン水の用水を数ケの小さな竹製バケツに貯へて消防隊が何處へでも

ら云へば香港より数多くの長所を有してゐる、一時間前から警報が發せられ民衆は悠々避難出来ることなどである。香港の防空問題は大问题であるが、各位の積極的支援によつて香港も重慶の如き防空能率を擧げることが出来るさ信じてゐる」と述べた。

外國宣傳情報第四號

内閣情報部二・五

上海シカゴデイリー・ニュース無線新聞電報放送(十月卅一日) (朝鮮總督府通信局轉取)

△(A・E・スチール特派員發)前文三十三語缺信

樞軸との同盟に對する思ひがけないアメリカ側の好戰的な反響に驚いたが、日本軍部は定めた無鐵砲な進路を離れたり、後退したりする傾向を示してはゐない。余は日本が樞軸との協定に調印して以來獨日政府間の合作が日毎に益々緊密となりつゝあると云ふ信賴すべき情報を東京より受けてゐる。之と同様に日本が後退する可能性は日毎に益々少くなつてゐる。日本には既に無数のドイツ人顧問と技術専門家があるが、なほ引續き到着してゐる。ドイツ人の日本援助は政府の四省即ち、陸軍省、海軍省、内務省(秘密警察)、大藏省に集中されてゐる、獨伊樞軸側の陸、海軍參謀部員の會談は順調に進捗してゐるといはれる。ドイツ秘密警察(ゲシュタポ)の手先達も民主的な宣傳を統制し、好ましからぬ外國人に手をつけるため日本警察制度の能率増進に援助してゐる。大藏省には少くともライヒスバンクの代表者三名がをり、日本人に對し彼等の經濟的基礎と貨幣の基礎を強化する方法を教へてゐるといはれる。之等すべての意味は、日本側が國家機構の最大弱點に對してドイツの援助を懇請し、ドイツの經驗と技術的知識の恩恵を受けてゐるといふことである。